

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		健康づくりフォーラム事業						予算事業名		健康増進計画推進事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	健康増進法				
			04	01	04	6001	政策経費						
総合計画体系	1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)							事業の区分	主要事業				
	1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実（健康・医療）												
	①健康づくりの推進							担当課係等	健康増進センター				
	1健康づくり活動の推進								健康増進係				
事業期間		継続（平成20年度～ 年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
市民の健康づくりを推進し，壮年期の死亡数の減少や，健康寿命の延伸を図る。							多くの市町村が健康まつり等の事業を実施している。また健康まつり等の実施に際し，国保連合会では無料で健康機器の貸し出しを行っており協力が得られる。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
「健康づくりフォーラム」イベント開催。 ・健康づくり講演会開催 ・健康機器による健康チェック。 ・食事診断，健康食レシピ配布など情報提供。							市民						
							【事業をとりまく環境の変化】 少子高齢化，壮年期及び高齢期の自殺者の増加，さらには健康格差が拡大している。人々は健康で長生きを求めているが，健康に関する情報の氾濫と健康に対する意識も多様化することから，行政として健康寿命の延伸に向けて正しい情報を提供する必要がある。						
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】					
イベント内容 ・健康づくり講演会開催 ・健康機器による健康チェック ・食事診断・健康食レシピ配布等情報提供				イベント内容 ・健康づくり講演会開催 ・健康機器による健康チェック ・食事診断・健康食レシピ配布等情報提供				イベント内容 ・健康づくり講演会開催 ・健康機器による健康チェック ・食事診断・健康食レシピ配布等情報提供					

■事業費

		H30年度		R01年度				
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0	
	県		支	出	金	0	0	
	地		方		債	0	0	
	そ		の		他	0	0	
	一		般	財	源	106	328	
歳入計（千円）		106		328				
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）		金額（千円）		金額（千円）			
	08	報償費	0		50			
	11	需用費	106		246			
	14	使用料及び賃借料	0		32			
歳出計（千円）（A）		106		328				
伸び率（％）				209.43				
備 考	総合計画 49ページ 予算書 106ページ							

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	健康づくりフォーラム開催数	回	目標	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	健康づくりフォーラム参加者数	人	目標	350.00	300.00	300.00
	健康づくりフォーラム（講演会・健康チェック・試食等）への延べ参加者数		実績	254.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	健康に関する情報などが氾濫する中、市民に対し健康寿命の延伸・健康格差の縮小に向けて正しい情報を提供する必要がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市民の健康増進を図ることを目的としており、市が主体となって行うのは当然である。
	手段の妥当性	A 妥当である	健康に関する講演会と合わせ食育や健康機器による健康チェックなどを行う開催方法が一般的であり問題はないと考える。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	市民ボランティアの協力を得ての実施及び無料健康器具の使用により、コスト効率および人員効率は良い。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	全市民を対象に周知しており、問題はない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	200人を超える参加者を確保できた。またフォーラム開始時と比較し、壮年期の「ほとんど運動しない人の割合」の減少、「高齢者の運動習慣」の増加など成果が見られる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	市民ボランティア、医師会などとの協力体制を確立して事業の実施に取り組んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
フォーラムでは、健康食レシピの配布や健康機器による健康チェックが行えるなど、健康増進に対する総合イベントであり、より多くの市民が参加できるように周知を徹底していく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
健康に関する総合イベントとして、多くの市民が参加し健康に対する意識の向上が図れるよう、講演会の内容を検討し進めていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 市民の健康意識を高めることで健康づくりを推進するよう、事業内容や周知方法等を検討するとともに、食生活改善推進員や運動普及推進員等とも協働し、単発の事業から健康に関する継続的な取り組みができるよう検討する。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。